

**貧困・格差・差別をなくし、戦争反対、9条改憲阻止をたたかおう！**  
**労働者の共闘で、8時間働けば暮らせる社会の実現を！**

**第6回労働運動研究討論集会の討論課題の提起について（案）**

**1 はじめに**

- (1) 当面の労働運動の課題
  - ① 安倍の9条改憲を阻止する
  - ② 「働き方改革」一括法案を廃案にし、職場・地域で「働き方改革」と対決する運動をつくる
- (2) 昨年のスローガン「貧困・格差・差別と闘う総がかり労働運動を実現しよう！」
  - ① 「新しい労働運動の創造とその担い手の育成」に踏み込む
  - ② 総がかり運動と連携した貧困・格差・差別をなくすたたかい
- (3) 今年のスローガンについて
  - ① 朝鮮半島での武力衝突を阻止したい思いで「戦争反対」を加えた
  - ② 民進党の分裂は「野党共闘」の分断を意図したものである。「総がかり労働運動」を展開するためにも「労働者は共闘を」呼びかける
  - ③ 最低賃金大幅引上げキャンペーンでは最低賃金を引き上げても長時間働かざるを得ない実態が問題になった。長時間労働是正の議論をしても、「残業規制をされたら、生活できなくなる。長時間働かせてくれ」という意見があった。これらを解決するスローガンとして「8時間働けば暮らせる社会の実現を」を掲げることにした。
- (4) 労運研の今後の展望（第5回討論集会の提起）
  - ① 全国化と世代交代
  - ② より実践に結び付く研究
  - ③ 次世代指導者、青年活動家の参加による運営
  - ④ 運動の全国展開

**2 分科会テーマについて**

- (1) 「働き方改革」との闘い
  - ① 「働き方改革」一括法案の概要と問題点 [別紙1]
  - ② 労契法20条裁判の状況
    - ・「成果」「責任」による差別や社会通念上の差別を容認
    - ・一部手当の「不合理な労働条件」を認める（郵政20条裁判）

- ③ 最低賃金大幅引き上げキャンペーン
    - ・「最低賃金時給 1500 円をめざして、いますぐどこでも時給 1000 円に」の浸透
    - ・地域間格差の是正、審議会の議論・運営の問題点
    - ・企業内最賃、職場の賃上げとの連携
  - ④ 「同一労働同一賃金」ではない「不合理な待遇の禁止」にどう立ち向かうか
    - ・事業所内、産業内の正規労働者と非正規労働者の就業実態、就業規則の実態
    - ・賃金格差・差別をどうなくすのか
    - ・合理的な待遇をどう求めていくのか
  - ⑤ 「長時間労働の是正」をどう図るのか
    - ・「過労死」「過労による健康障害」防止を実現する労働組合の取り組み
    - ・36協定締結に関する労働組合の対応
    - ・ワーク・ライフ・バランスの実現
  - ⑥ 「柔軟な働き方」の実態と対策
  - ⑦ 人事評価制度への労働組合の取り組み、人事評価の公表・説明を団交議題に
- (2) 自治体非常勤労働者の闘い
- ① 自治体非正規労働者の実態把握
  - ② 「会計年度任用職員」問題への取り組み、非正規労働者の権利確保
  - ③ 委託労働者への取り組み
  - ④ 公共サービス労働者の労働条件の向上
  - ⑤ 公契約条約の活用の可能性

### 3 全体討論のテーマ

- (1) 格差・差別、非正規問題を取り組める労働組合になるにはどうすればよいか
  - ① 労働組合の交渉力の強化
  - ② 非正規労働者の団結の促進
  - ③ 労働組合の民主的運営、当事者意見の尊重
- (2) 8時間働けば暮らせる社会をどうつくっていくのか
  - ① 全国キャラバンの成功を
  - ② 地域の連携・共闘づくり
- (3) 安倍9条改憲阻止の闘い
- (4) 労運研の今後の活動
  - ① 呼びかけ人、賛同人の拡大
  - ② 地域における労運研活動
- (5) 労運研の今後の研究課題 [別紙2]

以上